

## 大原学園山形校生徒と県議会議員との意見交換会開催状況

開催日時	令和7年1月30日（木）14時40分～16時15分
開催場所	大原スポーツ公務員専門学校山形校（山形市）
出席議員	矢吹栄修、阿部恭平、佐藤正胤、渋間佳寿美、小松伸也
参加者	生徒23名
意見交換の概要	<p>県議会の概要説明を行った後、質疑応答形式で、①県内の交通政策、②若者の活躍、雇用機会の創出、③災害対策の各テーマについての意見交換を行った。</p> <p><b>【主な意見等の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線の高規格化により、首都圏へのアクセスが現在よりも格段に良くなると考える。</li> <li>・山形県は世帯当たり自動車保有台数が日本一であるとともに、ガソリン代が全国でもかなり高い現状である。高速道路や国道・県道等の整備を進めることで輸送コストを下げるのが可能と考える。</li> <li>・今後、高齢化に伴い買い物弱者がさらに発生するものと考えられ、中山間地の公共交通機関などの対応を考えるべきである。</li> <li>・寒河江駅等の時刻表を見るとバスの最終便が早いと感じる。それを解消することでさらなる利便性の向上が期待できると考える。</li> <li>・現在日本国内でオーバーツーリズムが問題視されており、尾花沢市の銀山温泉などでも課題として挙げられている。観光客を増やすだけでなく、住民など地域に対する影響も大きいため早急な対応が必要になると考える。</li> <li>・例えば天童市のイオンモール天童などのように、山形県は遊ぶ場所や買い物できる場所が限られていると感じている。若者が楽しめる環境づくりやそれに伴うまちの発展について考えるべきである。</li> <li>・若者の特徴として、地方では雇用の機会が少ないなどの理由で都会に転出していると考え。若者が山形に残るための雇用機会の拡大や環境づくりについて考えるべきである。</li> <li>・米沢駅周辺を見ると若者が集い楽しめる場所が少ないと感じる。米沢駅周辺の発展、また、米沢市の人口減少に歯止めをかけるための対策について考えるべきである。</li> <li>・最上地方は他の地方と比べても人口減少が激しい傾向にあるが、人口減少に歯止めをかけるために対策が必要であると考え。</li> <li>・豪雨災害に関して、戸沢村では豪雨災害などの影響で集落の集団移転の動きもある。今後もこのような事態が起きた際に対策を講じていく必要があると考える。</li> </ul>